



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.55

令和7年2月26日

文責：校長 伊藤 孝行

今年度最後の授業参観が終わりました。

今年度最後の授業参観は、どの学級も一年間のまとめと感謝を表すよう工夫を凝らしました。



＜手話を入れながら歌う1・2年生＞



＜合奏を披露する3・4年生＞



＜親子で共同作業のあおば学級＞



＜自分の成長を発表する5年生＞



＜将来の夢を発表する6年生＞

一年間というのにはまだ少し時間がありますが、子どもたちの成長のスピードには驚くことばかりです。

特に1年生は、毎日のように何かができるようになっていきます。同じ教室に2年生がいて、それを真似するうちに力がついてくるのだと思います。

6年生は卒業生の雰囲気が出され、5年生は6年生への心構えができています。他の学年も成長や来年への意気込みを感じた時間でした。

保護者の皆様にはお忙しいところ、来校くださり子どもたちの頑張りに温かい声援を送っていただき本当にありがとうございました。

奉仕作業へのご協力に感謝申し上げます。

3回目になる奉仕作業は、年度末に向かいガラス磨きを行いました。お家の人と一緒に子どもたちも清掃活動に取り組みました。



みんなの力を合わせて清掃に取り組んだ結果、学校中がきれいになりました。

校庭の古い樹木の伐採が始まりました。

校庭には老木も多く、倒木の危険があるものも何本かあります。市の教育委員会に危険樹木の伐採をお願いしていたところ、昨日から校庭東側の桜の老木の伐採が始まりました。しかし、太さがある木のため、一旦中断してあらたな重機を入れて再度伐採を行います。

